

Eye Make Technique

あなたの新しい魅力を引き出す

イメージ別

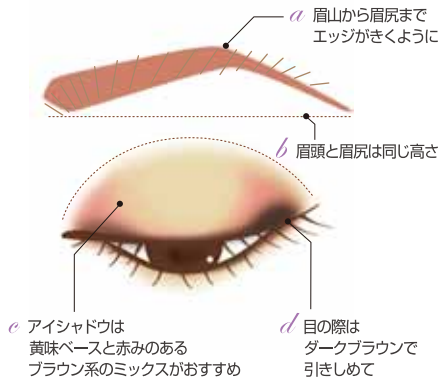
アイメイク術

眉毛は顔の額縁と言われ、かたちを変えるだけで顔の印象は大きく変わります。なりたいイメージ別のアイブロウ・アイシャドウテクニックをマスターして、いろんな表情にトライしてみましょう。



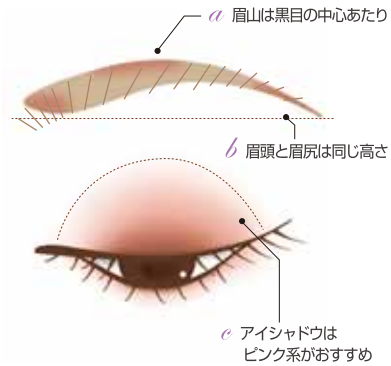
スタイリッシュメイク

* 都会的で洗練されたイメージを演出 *



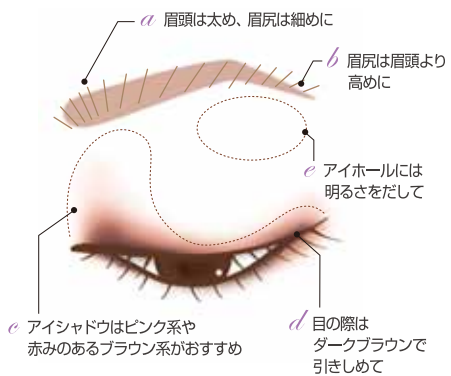
フェミニンメイク

* かわいらしく幸福感を演出 *



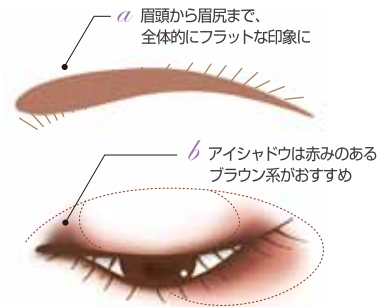
ブライダルメイク

* 華やかで品格のあるイメージを演出 *



オリエンタルメイク

* はかなげな女性らしさを演出 *



まなざしで魅せる瞳美人へ!

効果的なメイク法 + アイテム選び = 目ヂカラUP

パツと華やぐ アイメイク完全攻略。



「目は口ほどにものを言う」と言われるように、「目」は人に与える印象を左右する大切なパーツ。アイメイクの仕上がりで、顔の印象を大きく変えることもできます。クリスマスに年末年始、ちょっとしたお呼ばれが多いこのシーズン、ファッションに合わせてアイメイクもチェンジしたいところ。効果的なメイク法をマスターすれば、華やかな表情づくりも簡単に仕上がります。瞬きするほどに、人を魅了する瞳美人を目指しましょう。

イメージ通りのアイメイクを仕上げるには、健やかな目もとが絶対条件。ところが油分の多い化粧品によって油焼けを起こし、色素沈着が発生したり、防腐剤や香料など化粧品成分の刺激によってかぶれを起こしたりするなど、目もとのトラブルに悩まされている方も多いようです。顔の中でも目のまわりは特に皮膚が薄くデリケートな部分なので、アイメイク用品は安心して使えるものを選びましょう。

あなたの目もとダメージは大丈夫!?

ダメージCheck✓

- 1日に何度もアイメイクを直す
- 発色強い「タール系色素」を含むアイシャドウをよく使う
- 結膜炎などアレルギーをもっている
- 繊維が多く含まれているマスカラを使っている
- メイクをしたまま寝てしまうことがよくある

WARNING
チェックが2つ以上の方は要注意!

「クレンジング剤」にもご用心!>>>

近年落ちにくいアイメイク用品の使用率が増え、クレンジング剤は汚れをしっかりと落とせるように作用が強くなっています。肌への負担を考えて、クレンジング剤にも気を配るようにしましょう。



目もとのメイクオフ

アイメイクは一番最後にオフ

アイシャドウ・マスカラ・アイラインなどのアイメイクは濃い色素が使われています。色素が肌に広がらないように、クレンジングは頬や額などからはじめ、最後にアイメイクをなじませるようにしましょう。



面倒だからと洗顔だけで済ませたり、おざなりに洗ったりしていると、メイクが肌に残って肌トラブルや肌老化の原因になるのでご注意ください!

